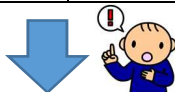


自立活動 実践例の報告

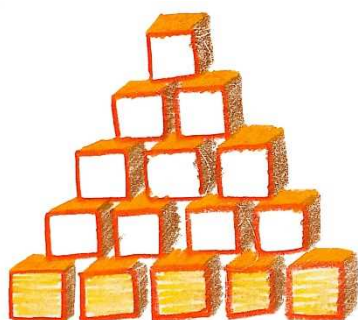
☆自立活動の課題を整理（高等部の実態データを参考に）

| 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
|---|--|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠と覚醒 ・清潔、衛生 ・安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる場所 ・感情のコントロール ・自己統制力 ・相談 ・社会参加への意欲 | <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・返事、言葉づかい ・他者との関係 ・規則の遵守 | <ul style="list-style-type: none"> ・指示の理解 ・自発性 ・自己の体の理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力 ・行動調整 | <ul style="list-style-type: none"> ・報告 ・状況に応じたコミュニケーション ・言葉の受容 ・目的の表出 |



☆情報の整理、中心課題となる事柄（生活上・学習上の困難さ）※過去のことも含め

- ・こだわり（コンセント）があり、周りを見ずに突っ走ってしまう。
- ・生活リズムがきちんと確立されておらず、睡眠不足から学校で泣いたり、床に寝転んだりすることがある。
- ・自分自身で物事の善悪が分からず、ふざけすぎてしまうことがある。（対人関係の誤学習）
- ・言葉を使ったコミュニケーションよりも態度や行動が先に出る。
→人に言葉を使って伝えたことで「伝わった」という経験をあまりしていない。



安心できる環境をつくりながら

積み上げたことによって！

☆安心できる場所を作って、自己理解が進んだ実践（I先生）！！

- ・自教室の隣の個部屋を「ホテルにする～♪」と好きなおもちゃを並べたり、ラジオを聞いたりできる居場所作りをした。さらに、学校中のコンセントを一緒に見に行き「一緒にしてもらおう」という経験を積んだ。
- ・誤って行動（授業中寝転んだり）しても口頭で注意をしたり、事前に止めたりするのではなく、あえて行動をしてからイラストで誤った行動であることを伝え、一つずつ丁寧に確認した。さらに、次は正しい行動を促し、リベンジの機会を提供した。⇒自分の頑張りどころが分かるようになった！！



ここが指導のポイント！！

【】内は自立活動の区分、項目を記載しています。

①学校中のコンセントを一緒に見に行く「一緒にする」経験

【心理的な安定2—（1） 人間関係の形成3—（1）】

②視覚的に誤った行動にアプローチをする（イラストを使って寝転んでいることを伝える）

【心理的な安定2—（2） 人間関係の形成3—（2） 環境の把握4—（5）】

③次に行う正しい行動を伝え、自己実現できる機会を提供する

【人間関係の形成3—（3） コミュニケーション6—（1）】

